

〔伊呂波字類抄〕安人體汗アハセ人身上熱汁也

〔倭訓栞〕阿前編二あせ中汗は熱濕アツシマリの義、えめ反せ也。汗水といふ語、平家物語に見えたり、齋宮の

忌詞に、血をあせといふも似たるをもてなり、

〔和漢三才圖會〕十二汗支體津液支體亦津液汗阿和名人身上熱汁也。津津本屬陽液屬陰。

汗本出于心、在內則爲血、在外則爲汗、驚而奪精汗出於心、持重遠行汗出於腎、疾走恐懼汗出

於肝、搖體勞苦汗出於脾、飲食飽甚汗出於胃、醉飽行房汗出於脾、眠中出汗曰盜汗彌阿

津者液之清者爲汗、而走腠理故屬陽、

液者津之濁者、注骨而補腦髓故屬陰、

按飲食穀氣爲津液、復分清濁、而清者則津爲汗、涕唾濁者則液爲血、精唾脂也、痰膿等津液凝滯而所變、

〔日本書紀〕二十四四年六月戊申、倉山田麻呂臣、恐唱表、文將盡而子麻呂等不來、流汗沃身、亂聲動手、

〔枕草子〕九八九月ばかりに、雨にまじりてふきたる風いとあはれ也、雨のあしよこざまにさわが

しう吹たるに、夏とほしたるわたぎぬの、あせの香などかはき、すゝしのひとへに、ひきかさねて

きたるもおかし、

〔源平盛衰記〕九康賴熊野詣附祝言事

僧都ハ餘リニクタバビレテ、只夜モ晝モ悲ノ涙ニ沈ミ、神佛ニモ祈ラズ、熊野詣ニモ伴ハズ、岩ノハ

ザマ苔ノ上ニ倒レ臥テ居タリケルガ、都ノ人ノ聲ヲ聞起アガレリ、中日モ既暮ケレ共僧都ハ

アヤシノ伏戸ヘモ歸ズ、天ニ仰ギ地ニ臥首ヲ扣キ、胷ヲ打喚叫ケレバ、五體ヨリ血ノ汗流テ、身ハ

紅ニゾ成ニケル、

〔增補下學集〕上二盜汗チアセ 寢汗上